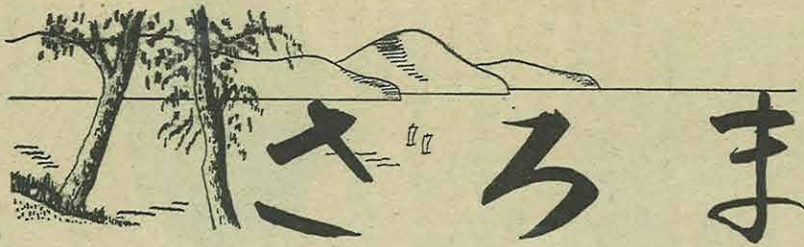


No. 112

42. 1. 1 発行

発 行 人
佐呂間町長 船木長一郎編 集 人
庶務課 広 報 係印 刷
佐 呂 間 印 刷

1



(初春に伸びゆく町有林)

昨年は本町基幹産業であります農家が大きな被害を蒙りまして、農家の皆様は勿論ですが直接、間接に影響がありましたこと心から御同情申し上げます。

農業被害対策については関係機関の協力をいただき乍ら、一応緊急対策であります救済事業については、農家各位の旺盛な勤労意欲に依り計画の事業は暮までに殆ど完了致しました。救済事業の計画に当りまして、務めて今年以降の再生産に役立つものを、選択した次第でありますので施設等については、今後関係者の正常な管理を願いたいと存じます。

更に当面の維持資金、今年の再生産資金、種子の確保、飼料対策減税等、一応措置出来得ましたことを御報告申し上げます。

今後は土地基盤整備を始め農家負債の内、固定化されているもの、長期、低利資金への借替等の問題を強力に進めて参りたいと存じており、又農業経営のあり方についても、人為的に冷害を克服する方向に農家各位の経営内容を再検討していただき、新たな今後の経営計画を家族中で話し合えて、一月早々提出願う様にお願しております。



佐呂間町長 船木長一郎

明けまして
あめぞう
ございすす

すので、将来の農業経営を充分考えられて計画をお作り願いたいと思います。

町と致しまして、安全確収の酪農発展を基本として、昨年に引続いて草地、牧野の造成を推進致す所存であります。

斯様な災害の年でありましたが昭和四十一年に計画致しました町営事業も農業の経営の基盤整備(草地牧野造成)を始め、教育施設若佐公民館、若佐、浜佐呂間の保育所、公営住宅、道路整備、農業学園学舎等の新設事業、或は農家の無水解消の補助等も予定通り施行出来たことは町民各位の御支援御協力の賜であり衷心から厚くお礼申し上げます。

新年度の計画に於ても、町行政の中心的課題であります産業振興教育施設の整備、社会福祉施設、道路網の整備を強力に進め生産の阻害条件を逐次改善し、民生安定に寄与致したい所存であります。

何卒旧に倍しての御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶と致します。

冷害に負けない経営を

人の動き

世帯数	2,802
人 口	12,198
男	6,109
女	6,089

11月30日住民登録人口



冷害備林を造成しよう

今年こそ

羊々たる

希望をもつて

新春に当って

町議会議長 山元邦良



町民の皆様明けましておめでと
うございます。

希望清新に満ちた新春を皆様と
共に迎えることができましたこと
を心から慶び申し上げますと
共に、わたくしも、新心一転郷土
建設に最善の努力を尽したい決意
であります。

さて、過ぎ去った一年間を振り返つ
てみますと、期待した本町基幹産
業であります農業が悪天候により
予想外の激甚冷害を受け、その影
響を全町民に及ぼしたことは誠に
残念であり、衷心よりご同情に堪
えない次第であります、幸いにし
て町内各位からは、温い才末たす
けあいの金品を沢山ご恵贈戴きま
したことを心から感謝いたして
おります。

また国内的には多面にわたつて
数多くの問題があり、政治経済に
極めて多難な年でありました。
このことが本町行政をも大きく左
右するものがあり、合せて冷災害
と合致するなど、極めて財政的に
困難でありました。
しかし町民各位のご理解とご協力
を戴き農林水産業振興のうち特に
農業構造改善は最終年度で、現在
まで進めてまいりました。
寒冷地農業恒久対策の酪農振興に

つき草地牧野の造成と合せ、本町
における乳牛増殖計画より以上の
実績を挙げつつあることは今年に
おける農業安定確立の基礎となる
ものであります。

又農業振興の一環として問題にな
つて居ります、農業後継者対策に
ついての農業学園も、逐次良好な
成績で進み、ここに学園舎の完成
を見たことは、このうえない農業
への充実といえましょう。

その他社会施設整備等においても

明けましておめでとうございま
す。

輝やかしい昭和四十二年の新春
を迎え、町民のみならずのご幸
福とご繁栄を心から祈念いたしま
す。

本年は、我が日本国憲法を制
定し、世界の平和と人類の福祉に
貢献しようとする決意を示して以



来、満二十一年を数え、近代的な
国家として成人一年目の年を迎
えたのでありまして、ことさらに
心を新たにして町内の学校教育お
よび社会教育の発展に尽精いたし
たいと存じます。

昨年を顧みますと、特に交通事
故の多い一ヶ年であつたと思いま

公営住宅、若佐公民館、浜佐呂間
保育所等数多くの新築落成をみま
したことは、町民の福祉増進の根
源として、その任務を充分に果し
得るものと確信いたしている次
であります。

而しながら、町行政の基本方針も
おのずと、本町経済の合理化と体
質改善に配慮しながら、又各般に
亘り強力な施策を進めなければな
らないと痛感いたしております。
これが今後における我々地方自治
に携わるものとしての使命であろ
うと存じ強く決意を新たにいたし
ております。

私達、議会当事者は議会の使命達
成と町村自治の昂揚に一段と努力

す。国内においては、空、陸にお
ける事故による犠牲者が史上最高
であり、本道においても全国五指
に入る交通戦争の被害を示し、特
に寒心に堪えませ
ん。

本町においても一
昨年より連続の冷
害凶作のあとを受
け、重なる異常気
象の悪条件下にさ
らされた最悪の年
でありましたが、
教育行政面におき
ましては、三月末
日をもつて知来、
富士武両中学校を
廃止、佐呂間中学
校に統合し、この
統合に伴なう佐呂
間中学校屋体、増
築工事(四、六
四万六千円)は十
一月十五日に、
教職員住宅新築
六戸、改築二戸
併せて八戸(五
五、二万七千円)

新しい年を迎えて

教育長 相田 政之

が

を傾注し、住民福祉の質的向上と
、教育の進展のために寄与するよ
う町民皆様とともに邁進いたした
い所存でございます。

何と申しましても皆様の絶大なる
ご協力なくしては解決出来得ない
ものでありますので、今後ともよ
ろしくご指導ご鞭撻を賜りますよ
うお願いいたします。

どうぞ皆様も健康に留意され、新
しく迎えた昭和四十二年がもつと
も希望に満ち溢れ意義ある年であ
りますよう祈念いたし、簡単に
ありますが、年頭にあたり所信の
一端を申し上げて新年のご挨拶と
いたします。

十月末にそれぞれ完成しておりま
す。
そのほか、全小学校教育(一、二
年生)の机、椅子の整備、校舎の
改修、グラウンド整備、小中学校教
材の整備等逐次年次計画どおりす
めてきております。

社会教育面では、念頭でありま
した若佐公民館(二〇、四二〇千
円)の新築が十月十日に、農業後
継者および青年研修の場でありま
す農業学園舎(八、一五五、五千
円)新築が十二月二十七日にそれぞ
れ完成されております。

本年は、教育関係においては三
月末日に仁倉中学校を廃止し、佐
呂間中学校に統合する。危険校舎
の改築ならびに改修、中学校特別
教室の整備、小学校(三、四年生
)の机、椅子の整備、グラウンドの
整備等が要求されておりますので
年次計画にもとづき推進いたした
いと存じます。
社会教育関係においては、青少

たばこは町内で 買いましょう

百分の15が町に還付されます

年の健全育成を推進し、これの達
成のために婦人教育および成人教
育もこれに志向するとともに家庭
教育の充実と青少年団体ならびに
自主的グループ活動の育成助長に
つとめ、そのうち産業後継者の養
成教育にとくに配慮していきたい
と思ひます。
本年も教育費の増嵩は町財政の
上により大きな負担となり、予算
面においてもさらに大きな比率を
示すものと思ひます。
これが解決は、教育は義務であ
る以上、国や道からの負担および
補助等を大巾に増額させて、予算
を効率的に使用することが最も肝
要であり、併せて町民のみならず
の深い御理解とご支援を是非願
ひ致します。
年頭にあたりまして所信の一端
を申し上げ新年のご挨拶といたし
ます。

昭和四十二年元旦



庶務課	庶務課長 幸松 良茂
庶務係	藤岡 正重
庶務係	河本 孝治
庶務係	宇佐美 不二夫
庶務係	桐山 三津代
庶務係	杉野 孝子
庶務係	杉本 すみ江
庶務係	小深 春雄
庶務係	上ヶ島 作太郎
財政課	財政課長 岸本 勲
財政係	川崎 謹一
財政係	宮田 憲彦
財政係	千葉 裕子
財政係	長沢 徹
財政係	安藤 貢
財政係	山内 忠義
民生課	民生課長 田中 好一
民生係	住民係長 中村 一雄
民生係	住民係 小西 ふじ子
民生係	住民係 吉野 一利

農業基本調査が行われます

2月1日現在

正確な数字を申告しましょう

この調査は、毎年二月一日で行われておりますが、皆さんも御存知のとおり、北海道農業のありのまゝの実態を調べて農政の今後の対策資料とする貴重な調査です。これは単なる統計調査でして税金等にはいつい関係がありません。今月末から来月初旬にかけて、調査員の方が伺い致しますので正確な数字を御回答願います。

説明会日程

一月十八日 若佐公民館
十九日 浜佐呂間公民館
二十日 佐呂間公民館

農業基本調査検収日程

二月一日 栄公民館
二月二日 若里検診所
二月二日 若佐支所
二月三日 富武支研修所
二月三日 知来支所
二月三日 仁倉支所
二月三日 浜佐呂間出張所
二月四日 役場会議室

この冬から水が多くさん使えるなあ

無水対策工事終る

今までに完成した地区は次のとおりです。

栃木第二地区 八戸
第四地区 四戸
啓生地区 四戸
西富 六戸
北第一 一〇戸
北第二 五戸
仁倉 四戸
富武 八戸

町の無水補助対策が講じられて各部落の、使水に非常に苦勞してゐる農家から申込みが相つてであり、栃木部道の道費補助を筆頭に、町費補助の地区も次々と工事を終えて、永年の無水から開放され、文字通り「湯水の如く使える」状態に喜ばれております。

現在まで八地区の工事を終つて道及び町の補助を受けておりますが、更に明年度の申込みもあり、企画室では測量、設計等に忙しい毎日でした。

収納状況表

区 分	徴収決定額		収 納		収納割合	
	件数	税 額	件数	税 額	件数	税 額
振替納税制度利用者	871	39,211	822	36,533	94.4	93.2
振替納税制度未利用者	189	5,884	101	3,813	53.3	64.8
合 計	1,060	45,095	923	40,346	87.1	89.5
前年 同 期	1,256	39,081	953	32,335	75.9	82.7
差 増	△ 196	6,014	△ 30	8,011	11.2	6.8

1、収納割合向上の理由

☆納税者の協力により振替納税制度利用者が、所得税納税者総体の82.1%という大巾な普及を見た事が大きく影響している。

☆冷害等の悪条件にもかかわらず納税者はもちろんのこと、関係機関の協力により、農業所得者全員が期限内に完納している。

警察だより

去る六月七日に銃砲刀剣類所持等取締法の一部が改正され、昭和四二年一月一日から施行されることになりました。

改正の大きなねらいは、最近における銃銃等による事件、事故の増加に対処して、その取扱いの安全を期するために行われたものであります。

銃法の改正

☆所持許可更新の申請は、失効の日

猟銃等の所持の規則が変更しました

の一月前日から十五日前迄の間に申請書を受付ることにしています。☆所持許可を受ける猟銃等、または現在許可を受けている猟銃等であつても、その構造、機能等の基準が定められました。

①連続自動撃発式(機関銃式)のものではないこと

り期限内収納状況がまとまりましたのでお知らせ致します

成人をお祝い

しましょう

国民の祝日である成人の日、全国で祝福を受ける若い人達が数多くおりますが当時の場合は、全部で一四八名(男六三名女八五名)の方達がおりまして、十五日午前十時から佐呂間公民館で成人式が行われます。

今年の対象になる方は昭和二十一年一月十六日から昭和二十二年一月十五日迄に生れた人です。該当される方には通知を出しておりますが、若しもれておられる方がありましたら、至急教育委員会まで申出で下さるようお願い致します。

社会係		保健衛生係長		市川 良一	
保健衛生係		有光 乙二		関東 圭子	
税務課		稅務課長		田川 敏之	
賦課係長		玉井 清		幸松 博義	
賦課係		山本 芳雄		清水 伸一	
徵收係長		川滝 寛		十亀 伸	
徵收係		林 礼子		大島 満	
産業課		産業課長		田中 利行	
農政兼農業構造改善係		諸岡 照男		安藤 嘉朗	
農政兼農業構造改善係		伊藤 豊		片平 久義	
技師補		佐々木 由紀		小川 正夫	
農政兼畜政係		西田 昭夫		大沢 孝司	
畜政係		堀口 京一		相沢 武	
技師		拓殖商工兼水産係長		寺本 稔	
農政兼畜政兼拓殖商工係		中原 和子		皆川 秀一	
工営課		工営課長		上城 正光	
土木係長		越智 一		芋毛 武男	
土木係		越智 義勝		影山 透	
建築係長		越智 義勝		小林 博	
水道係長		越智 義勝		嘉村 孝一	
水道係		越智 義勝		嘉村 孝一	
技師		嘉村 孝一		嘉村 孝一	

年初には、とかくお酒を飲む機会が多い時期で、これにともなう酔っ払い運転は、酒酔い運転で、酒酔い運転は事故に会う危険が非常に高く、また事故を起すと必ずと云つてよい位大きな事故になりやすいものです。自分分はもとより他人まで大きな迷惑をかける酒酔い運転をなくするため、お互に次の事がらを守りましょう。

初 酔 の 運 転 は や め よ う

☆お酒を飲む場所へは車を運転して行かない
☆お酒を飲んだら絶対に車を運転しない
☆運転中は絶対お酒を飲まない
☆車を運転している人には、絶対にお酒を飲ませない
☆他人が無理に飲ませようとしている時には注意して、事故防止を呼びかけましょう。

☆長距離運転をするときは、必ず交代者をつける
☆車は故障がないように何時も整備点検をさせる

☆免許のない人に車を運転させない
☆運転者がスピード違反をしなければならぬような、過重な仕事のことや分量を決めない

冬 休 み 中 の 生 活 指 導

子供達が楽しみにしている冬休みがやってきました、いろいろと行事の多い年末、年始、学業から開放されるのびのびと休みを楽しく過ごす子供達の気持ちが察せられます。出来るだけその気持ちを生かしてやりたいものです。しかし自由に放任すると云うのではありませぬ。家庭での指導を忘れてはならないのですが、その方法も、子供のこうした気持ちを理解したうえで考えなければならぬのです。☆規則正しい計画的な生活をさせましょう。

規則正しい生活の中に、年末年始の行事やウインタースポーツを

運転管理者の注意

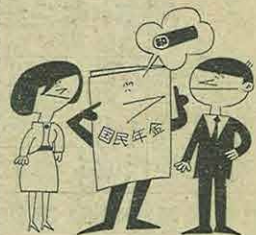
交通事故は運転者本人の責任だけでなく、運転者を雇っている人管理している人達が運転者の立場を充分考えないで、無理な運行をさせたりするため起きる場合も少なくありません。これから忙しくなることですから、特に次の事がらに注意しましょう。

計画的にとり入れ、楽しい生活を過ごさせましょう
☆自主的に学習するようにさせましょう

過重な家庭学習をおしつけると逆効果になります。短時間の集中した学習を規則的に行うように習慣づけましょう

☆子供が楽しみを持てさせましょう
子供のできる手伝いはできる丈多くさせましょう。年末、年始の家庭行事の手伝いは、楽しくやらせ、学ばせる絶好の機会です。☆みずから行動を決めるようにさせましょう

国民年金への加入は成人の義務



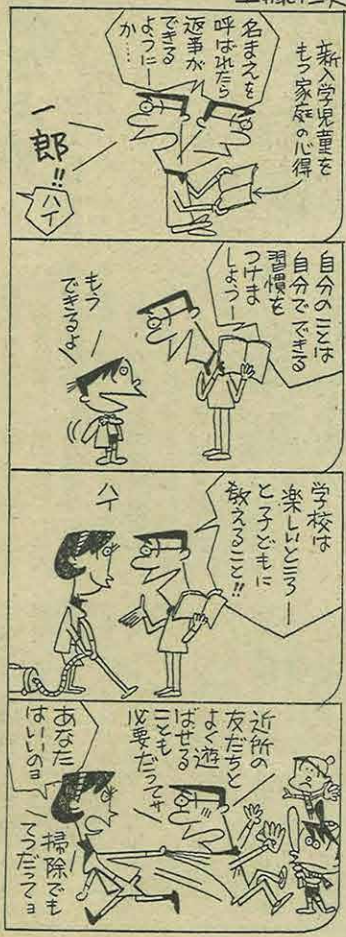
加入の手続きは簡単、印鑑をもって役場へどうぞ

火 が 一 番 こ わ い

冬の北海道は、春の乾燥期に次いで火災の多い季節です。そこでこの冬に火をださないための心がまえ、また火を出した時の対策を考え、家族ぐるみで火を出さないための対策

火災の原因はストーブ、煙筒に次いで子供の火あそび、たばこの不仕末となつていますが、これらの火災はストーブ、煙筒からのものが多くなつて来ます。これらの多くは火気を扱う者の不注意、油断によるものです。そこで火事を出さないためには、一人一人が火気を扱うたびに次の事項をチェックすることがたいせつです
①場所が危険でないか

北の一家



②器具は安全か
③使い方は正しいか
④あと始末は完全か
二、あなたの家の消火準備は、最近では、暖房にも炊事にも、油やガスを利用する家庭が多くなつたため火事になると火の回りが早く、冬は寒さや雪のため、消防活動が制約され、初期の消火がおくられて大事になることが多いので、普段から防火用水や消火器を、ぜひ備えたいものです。そして万一火を出した時には、あわてずに次のルールに従つて行動することです。なお、防火用水や泡消火器は凍るおそれがあるので、保温するなどの防止策を検討すること、また石油類や天ぷら油などの火災には、水による消火は逆に火を大きくする結果になるので、砂または油火災に適した消火器をおくことが大切です。
三、避難のための準備は雪で窓や非常口などがふさがれ逃げ口がなくなつて大事になる場合があるので、いつでも使えるようにしておくこと、また万一に備えてロープ、なわばしなどを用意しておくほか、安全なところまで逃げられるよう除雪をしておくことも大事なことです。

さらに室内を密閉しがちになるので空気の流通が悪くなり、暖房器などの不完全燃焼から一酸化炭素中毒を起すことがありますから、適当な換気を行うことも必要などです。
以上のように防火、消火避難についてお話ししましたが、防火用水、消火栓、火災報知設備の除雪に協力し、尊い生命や貴重な財産を火災から守りましょう。

宮崎農委事務局 局長 小池 栄子	東京自治大学校 入学生 藤田 禎子	職業案内 毎月第二、四木曜	年末調整書類提出 一月二十日まで	寄附 社会福祉協議会 佐藤みよ子 香典返し 壹万円也 谷口 茂憲 香典返し 五千元也	収入役室 会計取員 門崎 和子 杉本 俊子	若佐支所 支所長 佐藤 富男 戸籍係長 野島 倫則 支所係 福島 和子 公務補 宇佐美 辰男	浜佐呂間出張所 主任 小野 公啓 水道係 海老名 登	喪中 民生課住民係 横田 八重子 教育委員会総務係 大塚 二美子 公務補大門 謙一
---------------------	----------------------	------------------	---------------------	---	-----------------------------	--	----------------------------------	--

「広報さるま」は、町政のいろいろを知つていただくため、毎月一回発行し、自治会長を通して全世帯に配付しております。みなさまの建設的な御意見や質問は庶務課広報係へお寄せください。